

---

**持続可能な水産養殖のための種苗認証**

**Seedlings Council for Sustainable Aquaculture**

**(SCSA 認証)**

**審査報告書**

---

クライアント名  
安高水産有限公司

認証機関名  
ビューローベリタスジャパン株式会社

## 目次

1. クライアントに関する情報 .....	3
2. 審査機関に関する情報 .....	3
3. 審査結果要旨 .....	4
4. 全般的な所見 .....	5
5. レビュー及び認証決定プロセス .....	6
6. 推奨する今後のプロセス .....	6
7. 付属書 .....	7
8. クライアントレビューフィードバック .....	7

## 1. クライアントに関する情報

クライアント名	安高水産有限会社（契約番号 4171916）
クライアント ID	
所在地	愛媛県南宇和郡愛南町深浦 1888
認証範囲	【メンバー】安高水産有限会社 【活動】養殖場 【拠点】愛媛県南宇和郡愛南町深浦
認証魚種	マダイ Japanese red seabream (Pagrus major)
会社概要	昭和 25 年愛媛県宇和郡愛南町(旧城辺町)で鮮魚商として創業後養殖業も営む。 昭和 51 年有限会社安高水産として創業し、平成 14 年に鮮魚部門を廃止、養殖事業部へ一本化した。マダイの養殖に特化、独自の養殖管理システムを開発し種苗の受入から養殖、出荷工程管理を行っている。陸上の PC 管理以外にも、船上ではタブレット端末による IT 化を取り進め、データ解析による改善活動に力を入れている。

## 2. 審査機関に関する情報

審査機関名称	ビューローベリタスジャパン株式会社
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 18 番地 KRCビル 8F
審査チーム	
佐久間 千恵子	主任監査員
家弓 哲彦	研修審査員
審査日	2018 年 2 月 28(水)、3 月 1 日(木)、2 日(金)
審査の種類	初回審査

## 3. 審査結果要旨

審査規格	持続可能な水産養殖のための種苗認証(SCSA 認証)原則と基準 Ver1.3
<b>結果</b>	
重大な不適合	重大な不適合 0
軽微な不適合	<p>軽微な不適合 8</p> <p>1) 1.2.2 認証機関への DNA 鑑定用サンプル提供手順の文書化なし → 提出済み 解除</p> <p>2) 2.2.2.4 記録の修正に関する手順の文書化なし → 提出済み 解除</p> <p>3) 5.1.4 従業員に製品に関連する衛生管理の教育訓練実施記録がない → 実施と記録の提出済み 解除</p> <p>4) 6.2.3.2 ハラスメント行為に対する対応システムが未構築 → 提出済み 解除</p> <p>5) 7.1.1 管理システム構築に一部不足 → 提出済み 解除</p> <p>6) 7.1.4 モニタリングシステムの手順が構築されていない → 提出済み 解除</p> <p>7) 7.1.5 構築したシステムが適切に運用されていることを確認する手順が構築されていない → 提出済み 解除</p> <p>8) 7.1.6 内部監査の手順がない → 提出済み 解除</p>
条件付合格	条件付合格 0
観察事項	<p>観察事項 3</p> <p>1) 2.3.2.6 保管庫での使用可能な薬品と使用できない薬品の識別はできているが保管が不十分 → エリア分けによる保管手順提示済み 次回保管状況を確認の為観察事項</p> <p>2) 4.3.1 フレコン入り EP の保管に関し、衛生動物による影響への対策が不十分</p> <p>3) 7.2.1 解決に向けた透明性を明確にするため、文書化する事が望ましい → 提出済み 解除</p>
認証単位	認証範囲参考
所有の動き	- 種苗購入 → 養殖 → 成魚販売
CoC への接続点について	<p>種苗の購入・・・認証を受けた人工種苗生産者から購入</p> <p>活魚船・活魚車による受入</p> <p>成魚の販売・・・育成した種苗を養殖した成魚の販売</p> <p>活魚車で顧客の生簀あるいは水槽への納品、あるいは締め処理後梱包して納品</p>

## 4. 全般的な所見

全般的な所見	
I. 種苗生産者、養殖業者に対する原則と基準	
1. 種苗	<p>認証を受けた人工種苗業者より種苗を購入する。</p> <p>要求事項の生産履歴は、種苗生産年・受入運搬船エリアでロットを付与し「養殖管理システム」にデータベースとして保管している。</p> <p>DNA 鑑定実施の為に、成魚の鰭を生産ロット毎に1年間冷凍保管する体制が構築されている。</p>
2. 対象人工種苗飼育管理	<p>ロットごとに、全ての記録がネットワークに入力管理されている。水槽、生簀の分割、統合も明確に管理され、最新の情報が常に「養殖管理システム」で把握できる状況である。死亡魚数を含め、尾数情報も記録されている。常時正しい情報記録をするため、これまでは随時情報修正を実施してきたが、認証要求事項に基づき情報修正の手順も構築した。</p> <p>水産用医薬品の使用は、極力抑える方針である。農林水産省、水産試験場その他の最新情報に基づき、使用する医薬品を確認、決定している。</p> <p>水産用医薬品の購入、投薬記録も、「養殖管理システム」に全て情報が入力されている。</p> <p>医薬品は、施錠可能な保管庫にて保管している。使用期限切れの医薬品は、「使用不可」が記載され保管されている。現在廃棄に関しては購入先に返却しているが今後専門業者による引取りに変更中であった。</p> <p>逃亡管理として、魚長により蓋網の変更、潜水土による網破れの確認、台風への備えなどがなされていた。不明魚率は要求事項を下回り、問題のない管理状況を維持していると判断できる。</p> <p>種苗受入から養殖、出荷に至るまで、ストレスや損傷を極力抑え、魚類福祉の考え方をもち適切な環境での飼育を実施していた。</p>
3. 環境配慮	<p>海上における水質調査は、「愛南町水域ポータルサイト」から日々のデータ収集・異常発生時メール・FAX による情報入手が行われている。また、愛媛県水産研究センターからデータ収集も行っている。</p> <p>死亡魚の処理は、毎日冷凍保管を行い、一定期間で愛南町漁協へ処理を依頼している。適切な方法で実施している。</p>
4. 飼・餌料	<p>飼料は成長段階にあわせた品種を飼料供給先から購入している。購入記録ならびに給餌、栄養剤等の情報は「養殖管理システム」に記録されている。</p> <p>生餌、生物飼料の使用は無い。</p>
5. 食品安全	<p>水質管理は、自治体や水産試験場が公開するものを確認している。</p> <p>「衛生動物対策に関する指針」に基づき、防虫防鼠対策を講じ、衛生的な飼育環境を維持している。</p> <p>投薬、休薬は法に基づき実施し、記録は全て「養殖管理システム」で確認が可能である。</p>

	安全衛生教育については、不十分な点が見られたが、是正処置により適切な実施がなされていることを確認した。
6. 安全衛生・労務管理	<p>労働災害事故の共有や注意の発信を実施している。</p> <p>特殊技能については安全講習受講が行われていた。</p> <p>労働災害については、いずれも労働基準監督署に届け出、適切な対応がなされ再発防止のための策も適切であった。</p> <p>労働環境も全般適切に管理がなされている。児童労働、強制労働、拘束、差別などもなく、ハラスメントに対するしきみは未構築であったが是正処置により構築されたことを確認した。</p>
7. 社会経済的側面	<p>法令順守の下、地域社会や利害関係者と良好な関係を維持し、養殖事業を実施している。行政や地域への協力も積極的に行っている。</p> <p>組織内においても、SCSA 認証取り組みの意義を強く示し、組織全体で積極的な取り組みが見られている。</p>

<b>その他</b>
特になし

## 5. レビュー及び認証決定プロセス

審査レポートの確認と認証決定	
クライアントレビュー	2018 年 3 月 19 日 終了
ピアレビュー	2018 年 4 月 12 日 終了 三重大学 鈴木幸子氏
パブリックコメント	2018 年 4 月 19 日 終了 問い合わせ 0 件
認証決定	2018 年 5 月 2 日 佐藤 賢也
認証有効期限	2023 年 5 月 1 日

## 6. 推奨する今後のプロセス

推奨する今後のプロセス	
初回審査	2018 年 2～3 月 実施
第一回年次監査	2018 年 12 月～2019 年 2 月に 実施
第二回年次監査	2019 年 12 月～2020 年 2 月に 実施
第三回年次監査	2020 年 12 月～2021 年 2 月に 実施
第四回年次監査	2021 年 12 月～2022 年 2 月に 実施
再認証審査	2022 年 12 月～2023 年 2 月に 実施

## 7. 付属書

付属書
付属書 1: 原則と基準チェックリスト(チェック結果)

## 8. クライアントレビューフィードバック

2018/3/17 安高水産フィードバック
【安高水産】 レポート、チェックリストの表記誤りの修正依頼(詳細はチェックリスト記録参照)
【BVJ】 レポート、チェックリストの表記修正